

# 令和2年度 公営企業局(公営企業会計)主要事業

(水道・工業用水道・下水道・モーターボート競走事業)

令和2年2月

尼崎市公営企業局

公営企業局の各事業は、次に記載のビジョン、経営計画に基づき施策を実施していきます。

水道・工業用水道事業 ……「あますいビジョン2029」（令和2～11年度）

下水道事業 ……「尼崎市下水道中期ビジョン」（後半計画：平成29年度～令和3年度）

モーターボート競走事業 ……「尼崎市ボートレース事業経営計画」（令和1～5年度）

## 主要事業項目

### 水道・工業用水道事業

No	事業名	所管課	ページ番号
1	施設能力の適正化 (浄水場の設備更新ほか)	水道部経営企画課・計画課・浄水管理課	2
2	工業用水道事業の施設のあり方 (配水場の設備更新ほか)	水道部経営企画課・計画課・浄水管理課	3
3	管路の計画的更新と維持管理	水道部工務課・管路維持課	4
4	配水ブロック化 (市内配水エリアの整理)	水道部計画課・管路維持課	5
5	鉛製給水管の解消	水道部お客さまサービス課・工務課	6
6	応急給水拠点の充実	水道部計画課・お客さまサービス課・工務課	7
7	業務の効率化 (業務執行体制の見直し)	水道部管路維持課、浄水管理課	8

### 下水道事業

No	事業名	所管課	ページ番号
8	次期下水道中期ビジョン策定	下水道部経営企画課・計画課	9
9	下水道施設の改築更新 (老朽化対策)	下水道部建設課・施設課・浄化センター	10
10	浸水対策 (ポンプ設備改築実施設計ほか)	下水道部建設課・施設課	11
11	地震対策 (ポンプ場耐震補強ほか)	下水道部建設課・施設課・浄化センター	12
12	高度処理の推進 (浄化センター高度処理化)	下水道部施設課	13

### 水道・工業用水道事業、下水道事業

No	事業名	所管課	ページ番号
13	広報・広聴 (ウォーターニュースあまがさき発行ほか)	水道部経営企画課、下水道部経営企画課	14

### モーターボート競走事業

No	事業名	所管課	ページ番号
14	大規模施設改修事業	ボートレース事業部施設整備担当	15
15	電話投票売上向上事業	ボートレース事業部開催運営課	16

水道・工業用水道事業会計

事業名 施設能力の適正化（浄水場の設備更新ほか）

事業概要	令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額
<p>目的</p> <p>将来を見据えると、人口減少に伴う水需要の減少は続き、施設能力と水需要との乖離は広がっていくと考えられます。また、多くの施設は老朽化が進み、特に浄水処理機能の役割を担う施設の更新が多く控えています。そのため自己施設である神崎浄水場の役割や見直しの時期を考慮したなかで、令和12～21年の間に神崎浄水場を配水場化することとし、将来の投資や維持管理費用の縮減を図ります。</p>	139,515千円	1,611,009千円 (平成30年度繰越額 1,093,152千円を含む)	3,431千円

計画目標

令和2年度の内容	計画目標
<p>①沈殿池機械設備更新 沈殿池は今後施設の停止を想定しているため、全面更新ではなく必要最小限の部分更新で対応します。沈殿池の機械設備である、フロキュレータ<sup>※1</sup>の補修及びフラッシュミキサー<sup>※2</sup>の更新を行います。(73,493千円)</p> <p>②中間ポンプインバータ装置更新 沈殿池で処理した水は、高度処理棟内へポンプを使い送水しています。この送水するためのポンプ駆動用電動機の動力源である中間ポンプ用インバータを更新します。中間ポンプについては、今後施設の停止を想定していますが、修繕対応は困難なため更新します。(24,571千円)</p> <p>③その他整備費用 (41,451千円)</p> <p>◎設備保全のイメージ</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p><b>状態監視保全</b> ※3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主に機械設備</li> <li>沈殿池機械設備(①)</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p><b>時間計画保全</b> ※4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主に電気設備</li> <li>中間ポンプインバータ装置(②)</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p><b>事後保全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>照明機器など</li> <li>性能に異常を生じてから処置</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>機能停止に係る設備</p> <p style="color: red; text-align: center;"><b>必要性を再検討</b></p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">更新なし</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">延命化 沈殿池機械設備(①)</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">更新 中間ポンプインバータ装置(②)</div> </div> </div>	<p>神崎浄水場の配水場化にあたっては、まず市内への配水量のうち約9割を担っている阪神水道企業団からの受水量の削減に向けて取り組んでいきます。そのうえで水需要の動向も考慮し、神崎浄水場の配水場化に向けた施設整備を進めていきます。また施設整備にあたっては、官民連携を活用した、効率的な施設整備を検討し、最適な手法で実施していきます。</p> <p>・今後の計画スケジュール 令和3年度 施設整備に係るPPP/PFI手法の導入可能性調査</p> <p>令和5・6年度 神崎浄水場の浄水処理機能停止時期の決定 神崎浄水場の具体的整備内容の決定</p> <p>&lt;各施設の役割&gt;</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>取水、導水・・・水源から原水を取り入れ、浄水場まで導くための施設</p> <p>浄水・・・水源から送られてきた原水を飲用に適するように処理する施設</p> <p>配水・・・1) 応急給水に対応するための施設 2) 需要に応じて供給するための施設</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>

備考

沈殿池では原水に含まれる細かい砂や土などいろいろな濁質（にごり）の粒子を、硫酸アルミニウムという薬によって固まり（フロック）にし、沈殿させることで分離しています。

◇語句説明

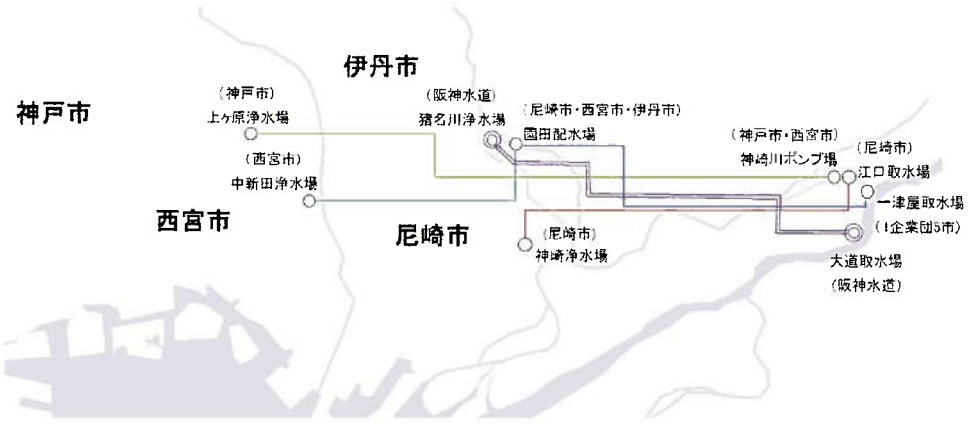
※1 フロキュレータ・・・フロック形成するために、24時間連続で稼働している設備。

※2 フラッシュミキサー・・・フロックを形成するための硫酸アルミニウムを原水に攪拌させるための設備。

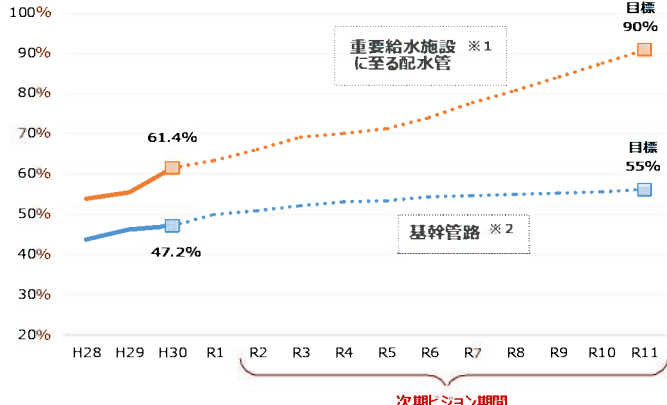
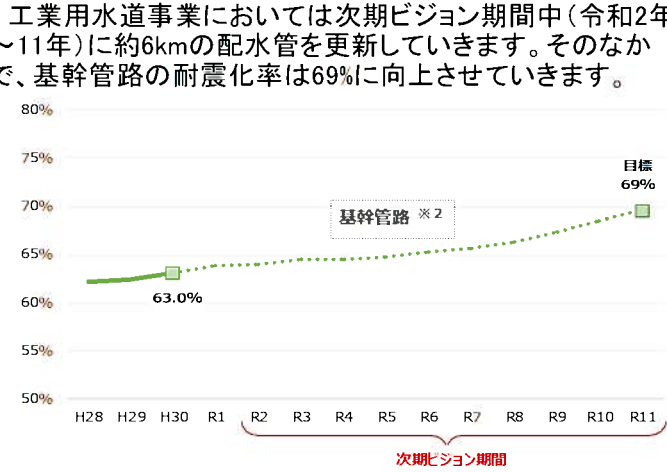
※3 状態監視保全・・・劣化傾向を管理し、故障にいたる前の最適な時期に最善の保全を行う方法

※4 時間計画保全・・・周期を決め、その周期に従い、定期的に保全を行う方法

## 水道・工業用水道事業会計

事業名	工業用水道事業の施設のあり方（配水場の設備更新ほか）		
事業概要	令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額
<p>目的</p> <p>工業用水道の施設は、主に高度経済成長期の初期の増加する水需要に対応するため整備したので、50年以上経過しているものが大半となっています。また、ユーザー企業の使用廃止に伴う給水収益の減少が続いている状況です。そのため、他事業体と連携した施設のあり方の検討などを行い、工業用水の安定した供給の継続を目指します。</p>	65,817千円	28,093千円	18,932千円
<p>令和2年度の内容</p> <p>①園田配水場集中監視制御設備更新 集中監視制御設備は、取水、浄水及び配水までを一元管理している設備です。当該設備については延命化を図ってきましたが、部品の製造中止などもあり、故障等が発生した場合にはユーザー企業への影響があるため、更新を行います。 当該設備の更新については令和元年度から設計業務を委託しており、令和2・3年度において更新工事を実施します。</p> <p>②江口取水場受変電設備等更新 江口取水場受変電設備は昭和61年から平成元年にかけて設置されたものです。本市では法定で決められた耐用年数ではなく、故障実績などから独自の耐用年数を設定し、効率よく運用していますが、当該設備はその目安としている30年を経過していること、また江口取水場については今後も継続して使用していくことから、全面的に更新を行います。 令和2年度においては、設計業務を実施し、令和5年度の更新完了を目指します。(14,718千円)</p> <p>③その他整備費用 (51,099千円)</p>	<p>計画目標</p> <p>現在、本市の工業用水は、共同施設である園田配水場と自己施設である神崎浄水場からの配水形態となっており、これらの施設は老朽化が進んでいることから、今後、耐震化などの対策が必要な状況です。一方で、水道を供給している阪神水道企業団の猪名川浄水場が一部余剰施設となることから、工業用水での活用の検討も他事業体と行っています。 今後は、将来においても工業用水を供給していくため、どのような施設の形態が安定的、効率的なのかを考慮し、他事業体と連携して施設のあり方の検討を進めていきます。</p> <p>・今後の計画スケジュールについて 令和4年度 猪名川浄水場の活用検討の方向性の決定 江口取水場 受変電設備及びポンプ設備等更新  令和5年度 江口取水場 受変電設備及びポンプ設備等更新</p>		
備考	<p>◇阪神間における尼崎市の工業用水道施設の概況</p> <p>・一津屋取水場 &lt;昭和43年に建設&gt; 1企業団5市共同施設 (大阪広域企業団・大阪市・神戸市・尼崎市・西宮市・伊丹市)</p> <p>・江口取水場 &lt;昭和37年に建設&gt; 尼崎市工水の単独施設</p> <p>・園田配水場 &lt;昭和43年に建設&gt; 3市共同施設 (尼崎市・西宮市・伊丹市)</p> <p>・神崎浄水場 &lt;昭和42年に建設&gt; 尼崎市上水の施設を共同利用 平成14年から供用開始</p> 		

水道・工業用水道事業会計

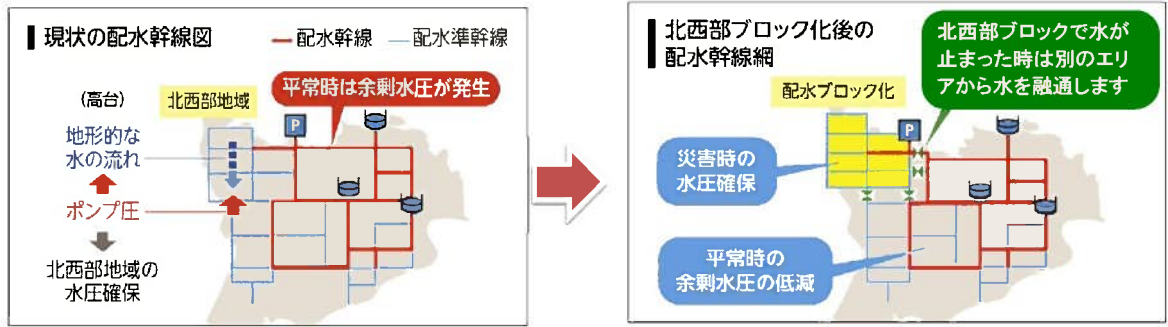
事業名		管路の計画的更新と維持管理								
事業概要		令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額						
<p>目的</p> <p>高度経済成長期に集中的に布設を行った配水管の更新時期が徐々に到来しています。本市では土壌分析などの状態監視調査を行なったうえで配水管の腐食進行予測を行い、実態に応じた老朽度を管路ごとに設定し更新を行ってきています。今後も引き続き、「重要度・老朽度・耐震性」の3つの観点から更新優先度を設定し、更新基準年数にもとづき更新規模の平準化を図るとともに、水需要の減少や地域バランスの変化を考慮した口径の見直しを行い、適切な更新を行っていきます。</p> <p>工業用水道の配水管についても水道と同様に「重要度・老朽度・耐震性」の3つの観点から更新優先度を設定し、更新基準年数にもとづき更新規模の平準化を図るとともに、強度が低い材質の配水管を優先して更新していきます。</p>		<p>2,263,651千円</p> <p>水道 1,782,797千円 工業用水道 480,854千円</p>	<p>2,101,786千円</p> <p>水道 1,762,776千円 (平成30年度繰越額 418,326千円を含む) 工業用水道 339,010千円 (平成30年度繰越額 82,126千円を含む)</p>	<p>1,512,322千円</p> <p>水道 1,279,026千円 工業用水道 233,296千円</p>						
令和2年度の内容		計画目標								
<p>①水道事業</p> <p>約11kmの配水管の更新工事を行っていきます。その更新のなかで、基幹管路と重要給水施設に至る管路については優先的に更新を行います。</p> <p>また、本市において最も口径の大きい配水管である10号配水本管の更新に向けて、設計業務を実施します。(1,782,797千円)</p> <p>②工業用水道事業</p> <p>約0.6kmの配水管の更新工事を行っていきます。この更新工事は、ルート変更による狭隘道路(幅員4m以内の道路)区間の解消と強度が低い材質の改善を目的としています。(480,854千円)</p> <p>◎更新優先度</p> <p>更新優先度は以下の3つの観点(重要度・老朽度・耐震性)から点数評価し、それぞれの点数を12段階に分類して「更新優先度」として総合評価しています。</p> <table border="1" data-bbox="127 1400 734 1635"> <tr> <td>重要度</td> <td>平常時・非常時の水輸送機能、重要給水施設管路、災害復旧の困難度から評価</td> </tr> <tr> <td>老朽度</td> <td>「ダクタイル鋳鉄管管体老朽度調査」で考案した土壌腐食予測式による老朽度ランクで評価</td> </tr> <tr> <td>耐震性</td> <td>上町断層帯地震を想定自信とした被害想定による管路被害率で評価</td> </tr> </table>		重要度	平常時・非常時の水輸送機能、重要給水施設管路、災害復旧の困難度から評価	老朽度	「ダクタイル鋳鉄管管体老朽度調査」で考案した土壌腐食予測式による老朽度ランクで評価	耐震性	上町断層帯地震を想定自信とした被害想定による管路被害率で評価	<p>水道事業においては次期ビジョン期間中(令和2年～11年)に約100kmの配水管を更新していきます。そのなかで、基幹管路については国の目標値である50%はすでに達成を見込んでいますが、さらなる向上を目指し、耐震化率を55%へ引き上げ、重要給水施設に至る配水管の耐震化率は90%に向上させていきます。</p>  <p>工業用水道事業においては次期ビジョン期間中(令和2年～11年)に約6kmの配水管を更新していきます。そのなかで、基幹管路の耐震化率は69%に向上させていきます。</p> 		
重要度	平常時・非常時の水輸送機能、重要給水施設管路、災害復旧の困難度から評価									
老朽度	「ダクタイル鋳鉄管管体老朽度調査」で考案した土壌腐食予測式による老朽度ランクで評価									
耐震性	上町断層帯地震を想定自信とした被害想定による管路被害率で評価									
備考										
◇語句説明										
※1 重要給水施設…災害時に重要な拠点となる病院や透析実施機関、指定避難所や防災拠点など、人命の安全確保を図るため、給水優先度が特に高い施設										
※2 基幹管路…水を供給するうえで基幹的な役割を担う管路で、導水管と配水本管のことをさします。 (導水管…河川などから取水した原水を浄水場まで導く管路) (配水本管…水道水を輸送分配する役割を持ち、口径300mm以上の配水管)										

水道・工業用水道事業会計

事業名		配水ブロック化（市内配水エリアの整理）		
事業概要		令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額
目的		-	3,413千円	-
<p>本市の配水システムは、配水管同士を市内全域で接続し「管網」を形成していることから日常的なバックアップ機能が存在するという利点があります。一方で「個々の管路の配水状況が不明瞭」、「大規模災害時の水圧低下が広範囲にわたる」、「北西部地域の災害時の水圧低下とその他地域の平常時の余剰水圧の発生」という課題もあります。</p> <p>そこで、市内を20のブロックに分割する配水ブロック化に取り組みます。これにより、平常時は水の流れをわかりやすくすることで漏水の迅速な把握につなげるとともに、災害時は漏水状況に応じた配水調整を行い、断水範囲の局所化及び迅速な断水解消に効果を発揮することとなります。</p> <p>また市内20ブロックのうち、標高が比較的高く阪神淡路大震災の際に断水解消が最後となった北西部地域については、早期のブロック化を目指し取り組んでいきます。</p>		計画目標		
令和2年度の内容		<p>配水ブロック化は大きく4つの項目に分け進めていきます。</p> <p>①北西部地域ブロック化(系統ブロック化) 本市は、4つの浄水場等から市内に配水しており、そのうちのひとつである野間ポンプ室から配水しているエリア(北西部地域)を配水ブロック化していきます。 北西部地域ブロック化は令和2・3年度において工事を施工し、令和3年度に完了します。</p> <p>②大ブロック化 地形や管網の状況をもとに市内を20の大ブロックに分割し、配水ブロック化を行っていきます。 この大ブロック化はブロック境界付近にある配水支管のバルブを操作することで実施していきます。 市内を20エリアに分割する大ブロック化は令和7年度の完了を目指し取り組んでいきます。</p> <p>③小ブロック化 水道水を供給するためには水圧を確保することが重要となりますが、災害などで標高が高い地域において管の破裂がおこると、高低差で水が標高の低い地域へ流れるため、水圧の確保が困難となります。 そのため、標高が高くなっていく北部地域においては配水ブロック化(大ブロック化)を行っても、そのブロック内において高低差が生じてしまうため、効果的な応急復旧を行っていくためには、さらにブロックを細かく小ブロック化していくことが必要となります。 小ブロック化は山手幹線より北の7ブロックを対象とし、令和11年度の完了を目指します。</p> <p>④水圧監視機器の整備 各ブロック内の災害時の水圧状況の早期把握のため、各ブロックに水圧監視機器を整備します。 整備にあたっては、有効な監視場所に設置することが重要となるため、配水ブロック化の状況に留意しながら実施していきます。</p> <p>これらすべての項目を着実に進めることで、配水ブロック化が災害に強い水道システムの一つとして機能することとなります。</p>		
<p>○北西部地域ブロック化</p> <p>北西部地域については、野間ポンプ室からの配水エリアをブロック化することによって、災害時の配水圧を確保します。</p> <p>また当該地域は、野間ポンプ室からの配水が停止すると、配水圧が確保できなくなることから、水を供給する配水本管に自動制御にて開閉可能な流調弁を設置することで、供給が可能となるように配水ブロック化を行います。</p> <p>この設備を設置するため、配水本管の更新に併せ、電動式流量調節弁、流量計、監視制御盤等を新設する工事の設計業務を令和元年度実施しており、令和2・3年度において工事を施工します。</p>				

備考

◇北西部地域のブロック化模式図



水道・工業用水道事業会計

事業名 鉛製給水管の解消

事業概要	令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額
目的	137,325千円	130,325千円	111,093千円

鉛製の給水管は、柔軟性に優れており、施工が容易であることから、昭和58年4月頃まで給水管の材料として使用されてきました。  
 しかしながら、漏水が多いこと、水道水が長時間滞留すると鉛成分が水中に溶け出し、鉛濃度が水質基準を超過する可能性があることから健康への影響も懸念されています。  
 そのため、公道部の鉛製給水管の取替工事を進めています。また、鉛製給水管の利用者に対しては個別通知による情報提供を行い、鉛製給水管の取替促進を目指します。  
 さらに、漏水が多い鉛製給水管を解消することで、有効率<sup>※</sup>の向上にもつながります。

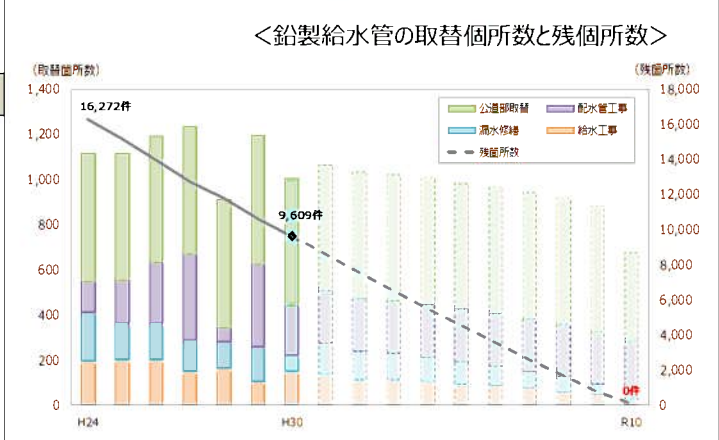
令和2年度の内容

①公道部の鉛製給水管の取替工事  
 公道部においては、鉛製給水管の取替工事を実施するとともに、老朽配水管の更新工事や給水管の漏水修繕工事の際にもあわせて取替を行っています。  
 取替工事については、次期ビジョン期間中の解消を目指し取り組んでおり、令和2年度は561か所の工事を実施します。(136,688千円)

②鉛製給水管の個別通知  
 鉛製給水管を使用していることを各ご家庭に認識していただき、水道水を安心してご使用して頂くための情報提供を目的として、お知らせを送付します。また、今後の建物の建替えや増改築工事等の際の参考にしていただくことで、鉛製給水管の取替を促進していきます。(637千円)

計画目標

- 公道部の鉛製給水管の取替工事  
公道部の鉛製給水管については、次期ビジョン期間中の令和10年の解消を目指し取り組んでいきます。

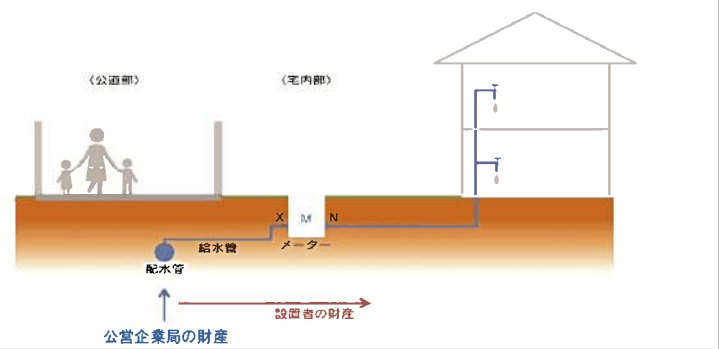


- 鉛製給水管の個別通知  
すべての鉛製給水管利用者に対して、次期ビジョン期間中の通知完了を目指し取り組んでいきます。
- 有効率の向上  
鉛製給水管の解消や配水管の更新などにより、有効率を現在の約95%から国の目標値である98%を目指します。

備考

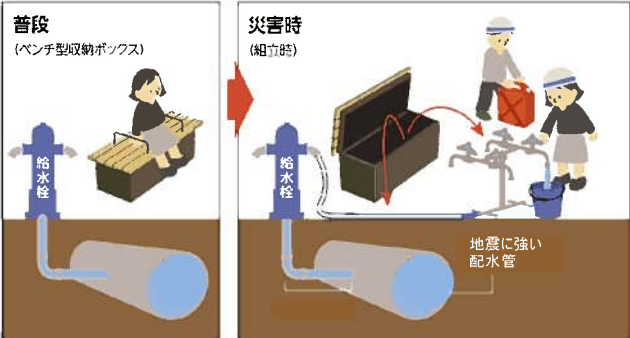


◇鉛製給水管への対応  
 鉛製給水管に水道水が長時間滞留すると鉛成分が水中に溶け出し、鉛濃度が水質基準を超過し健康への影響も懸念されるため、尼崎市では平成12年度からは鉛の溶出で低減効果がある、水道水のpH調整 (pH7.5) を各浄水場において実施しています。

◇水道管等の財産区分  
 給水管はお客様の財産となっており、取替や修繕などはお客様の原則負担によって行っていただくこととなっています。



※有効率  
 浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、どれだけ有効に利用できたかを示す指標を有効率といいます。

水道・工業用水道事業会計

事業名		応急給水拠点の充実													
事業概要		令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額											
<p>目的</p> <p>災害時は応急給水拠点において給水を行います。既存の応急給水拠点に加えて、避難所となる小中学校や地域振興センター等において応急給水栓を69か所設置し、既存の耐震性緊急貯水槽7か所と浄水場3か所と合わせ、応急給水拠点を79か所整備していきます。</p> <p>また、応急給水拠点のうち、特に発災初期からの給水活動を確保するため、耐震化された配水本管と直結した応急給水栓を、市民の皆様の水の運搬距離がおおむね1km以内となるよう優先的に整備していきます。</p>		134,503千円	15,724千円	-											
令和2年度の内容		<p>計画目標</p> <p>・応急給水拠点の整備箇所数と期間</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">箇所数</th> <th colspan="2">応急給水栓(69か所)</th> </tr> <tr> <th>24か所予定</th> <th>45か所予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概要</td> <td> <p>耐震化された配水本管から分岐した給水栓</p> <p>※配水本管 口径300mm以上の配水管で、管の厚みが太く、地震にも比較的強い管 (配水管全体に対して、配水本管が占める割合は約11.7%)</p> </td> <td> <p>耐震化された配水支管から分岐した給水栓</p> <p>※配水支管 配水本管から分岐して給水管に至る管 本管と比べると管の厚みは薄く、耐震化されていないと地震の被害を受けやすくなる</p> </td> </tr> <tr> <td>整備期間</td> <td>令和元年度～令和3年度</td> <td>令和2年度～令和8年度</td> </tr> </tbody> </table>			箇所数	応急給水栓(69か所)		24か所予定	45か所予定	概要	<p>耐震化された配水本管から分岐した給水栓</p> <p>※配水本管 口径300mm以上の配水管で、管の厚みが太く、地震にも比較的強い管 (配水管全体に対して、配水本管が占める割合は約11.7%)</p>	<p>耐震化された配水支管から分岐した給水栓</p> <p>※配水支管 配水本管から分岐して給水管に至る管 本管と比べると管の厚みは薄く、耐震化されていないと地震の被害を受けやすくなる</p>	整備期間	令和元年度～令和3年度	令和2年度～令和8年度
箇所数	応急給水栓(69か所)														
	24か所予定	45か所予定													
概要	<p>耐震化された配水本管から分岐した給水栓</p> <p>※配水本管 口径300mm以上の配水管で、管の厚みが太く、地震にも比較的強い管 (配水管全体に対して、配水本管が占める割合は約11.7%)</p>	<p>耐震化された配水支管から分岐した給水栓</p> <p>※配水支管 配水本管から分岐して給水管に至る管 本管と比べると管の厚みは薄く、耐震化されていないと地震の被害を受けやすくなる</p>													
整備期間	令和元年度～令和3年度	令和2年度～令和8年度													
<p>①応急給水拠点の整備</p> <p>応急給水拠点を13か所(うち配水本管と直結した応急給水栓は11か所)整備していきます。</p> <p>応急給水拠点の整備にあたっては、配水管分岐部から耐震管を布設し、給水栓を設置します。応急給水に使用する資機材については、ベンチ型の収納ボックスを設置し、現地に備蓄します。(127,112千円)</p>		<p>・応急給水拠点の訓練実施</p> <p>整備が完了した拠点については、翌年度までに訓練を実施し、その後も定期的に訓練を行っていきます。</p>													
 <p>普及 (ベンチ型収納ボックス)</p> <p>災害時 (組立時)</p> <p>地震に強い配水管</p> <p>&lt;応急給水栓のイメージ図&gt;</p>		 <p>職員が実践しながら、使い方を説明し、その後は地域の方々だけで、訓練を行ってまいります。</p> <p>&lt;応急給水訓練の様子&gt;</p>													
<p>②組立式給水タンクの整備</p> <p>停電や水質事故等により、応急給水栓が使用できない場合には、24か所の応急給水拠点に組立式の給水タンクを設置し、応急給水活動を行います。</p> <p>令和2年度は16基購入します。(7,391千円)</p>															
備考		<p>◇応急給水拠点のシンボルマーク</p> <p>神戸市水道局が、平成24年度に全国公募より選定したもので、このマークを全国で広く使用することを目指し、全国「どこでも」「誰でも」給水拠点の場所を認識することができ広域的な災害においても円滑な給水活動の実施を目的としています。</p> <p>本市においても応急給水拠点にこのシンボルマークを活用し、応急給水拠点の認識を高めていきます。</p>													
															



## 水道・工業用水道事業会計

事業名		業務の効率化（業務執行体制の見直し）													
事業概要		令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額											
目的		305,013千円 水道 232,305千円 工業用水道 72,708千円	169,880千円	163,719千円											
水道事業、工業用水道事業を将来にわたって安定的に継続していくための経営効率化の取組の一環として、次の事項について業務執行体制の見直しを図ります。															
令和2年度の内容		計画目標													
<p>①導水管・配水管維持管理業務の委託 令和2年度から、水道・工業用水道事業における配水設備（弁、栓、水道橋等）の日常点検業務等を委託します。（27,396千円）</p> <p>②修繕業務の包括的委託 職員が行っている修繕業務を委託し、お客さま対応の修繕窓口を設置するとともに、これまで委託していた漏水修繕とあわせて包括的に委託します。（217,788千円）</p> <p>③園田配水場運転監視操作業務の一部委託 令和2年度から令和4年度まで（3年間）工業用水道事業における園田配水場運転監視操作業務の一部（平日夜間、土日祝日及び年末年始）を委託します。（59,829千円）</p>		<p>取組計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">所管所属名</th> <th colspan="2">事業実施体制</th> </tr> <tr> <th>～令和元年度</th> <th>令和2年度～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管路維持課</td> <td>直営8人 （うち短時間勤務1人）</td> <td>- （▲8人）</td> </tr> <tr> <td>園田配水場</td> <td>直営10人</td> <td>【平日昼間】 直営4人（▲6人）</td> </tr> </tbody> </table>			所管所属名	事業実施体制		～令和元年度	令和2年度～	管路維持課	直営8人 （うち短時間勤務1人）	- （▲8人）	園田配水場	直営10人	【平日昼間】 直営4人（▲6人）
所管所属名	事業実施体制														
	～令和元年度	令和2年度～													
管路維持課	直営8人 （うち短時間勤務1人）	- （▲8人）													
園田配水場	直営10人	【平日昼間】 直営4人（▲6人）													
<p>園田配水場</p> 															
備考															
<p>&lt;効果額&gt; : (▲40,515千円)</p> <p>① 水道・工業用水道事業における導水管・配水管維持管理業務の委託化</p> <p>② 水道事業における修繕業務の包括的委託 (▲38,383千円)</p> <p>③ 工業用水道事業における園田配水場運転監視操作業務の一部委託化 (▲2,132千円)</p>															

## 下水道事業会計

事業名	次期下水道中期ビジョン策定										
事業概要	令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額								
<p>目的</p> <p>下水道サービスの継続に向けた今後の事業運営の基本的な考え方や具体的な方向性等を示すことで、市民や事業者への周知を図ります。</p> <p>〔現中期ビジョン：平成24年度～令和3年度〕 〔次期中期ビジョン：令和4年度～令和13年度予定〕</p>	1,446千円	10,769千円	-								
令和2年度の内容	計画目標										
<p>令和2年度から令和3年度にかけて次の項目を実施します。</p> <p>1 今後の事業運営の基本方針と具体的な方向性の検討 2 財政見通しの算定 3 次期中期ビジョン(案)のとりまとめ 4 公営企業審議会を開催し、次期中期ビジョン内容を審議</p> <p>①次期中期ビジョン策定支援 次期中期ビジョン策定に必要となる各種資料等の調製作業補助と策定支援に要する委託料。(令和3年度までの債務負担)</p> <p>②公営企業審議会開催費用 委員報酬や会場費等(1,446千円)</p> <p>&lt;次期中期ビジョンに定める主な内容&gt; ○基本方針 ○整備目標 ○具体的方策 ○事業経営に関する事項</p>	<p>左記の項目について、令和元年度に作成するビジョンの素案を基に、令和2年度から令和3年度にかけて公営企業審議会で審議し、次期中期ビジョンを策定します。</p> <p>【スケジュール(案)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度～令和元年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>検討部会の設立</li> <li>課題の抽出</li> <li>課題に係る資料の収集</li> <li>施策の体系化</li> <li>目標・行動指針の策定</li> <li>施策の重要度・優先度の設定</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>令和2年度～令和3年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後の事業運営の基本方針と具体的な方向性の検討</li> <li>財政見通しの算定</li> <li>次期中期ビジョン(素案)のとりまとめ</li> <li>公営企業審議会の開催</li> <li>次期中期ビジョン(案)公表</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>次期中期ビジョンに基づく事業実施</td> </tr> </tbody> </table>			年度	取組内容	平成30年度～令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討部会の設立</li> <li>課題の抽出</li> <li>課題に係る資料の収集</li> <li>施策の体系化</li> <li>目標・行動指針の策定</li> <li>施策の重要度・優先度の設定</li> </ul>	令和2年度～令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の事業運営の基本方針と具体的な方向性の検討</li> <li>財政見通しの算定</li> <li>次期中期ビジョン(素案)のとりまとめ</li> <li>公営企業審議会の開催</li> <li>次期中期ビジョン(案)公表</li> </ul>	令和4年度	次期中期ビジョンに基づく事業実施
年度	取組内容										
平成30年度～令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討部会の設立</li> <li>課題の抽出</li> <li>課題に係る資料の収集</li> <li>施策の体系化</li> <li>目標・行動指針の策定</li> <li>施策の重要度・優先度の設定</li> </ul>										
令和2年度～令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の事業運営の基本方針と具体的な方向性の検討</li> <li>財政見通しの算定</li> <li>次期中期ビジョン(素案)のとりまとめ</li> <li>公営企業審議会の開催</li> <li>次期中期ビジョン(案)公表</li> </ul>										
令和4年度	次期中期ビジョンに基づく事業実施										
備考	<p>【ビジョンの目指すべき方向性】</p> <p>下水道事業の課題について、現中期ビジョンでは老朽化する施設の改築更新、大雨による浸水被害の低減、想定される地震に対する耐震化等の防災対策及び高度処理の推進等を実施しておりますが、これらの取組は次期中期ビジョンにおいても継続させると共に、下水道施設の再構築や災害への対策等を考慮した持続可能な下水道の方向性を示すように、次期中期ビジョンを策定します。</p> <p>【ビジョンの目指すべき方向性(イメージ例)】</p> <p>(国土交通省:新下水道ビジョンより抜粋)</p>										

下水道事業会計																																																						
事業名	下水道施設の改築更新（老朽化対策）																																																					
事業概要	令和2年度予算	令和元年当初予算	平成30年度決算額																																																			
目的	5,044,670千円	5,354,966千円 (平成30年度繰越額 662,072千円を含む) ※補正予算後	3,528,113千円 (平成29年度繰越額 802,994千円を含む)																																																			
早くから建設した下水道管きよ、処理場(浄化センター)及びポンプ場は、耐用年数を迎え老朽化しつつあります。これらの下水道施設の更新、建替えなどを尼崎市下水道ストックマネジメント計画に基づき進め、下水道機能の維持を図ります。																																																						
令和2年度の内容	計画目標																																																					
<b>①管きよ改築、老朽管調査等</b> 老朽化の著しい管きよ15件の改築工事を実施します。また、令和3年度以降の工事実施に向け、管きよの老朽度を調査します。(3,012,023千円)	<b>管きよ改築延長</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">【管きよ】</th> <th colspan="3">計画期間</th> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>~H30</th> <th>R1</th> <th>R2~R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長寿命化計画</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平成30年度までの実績</td> <td>9,416m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>令和元年度実績(見込)</td> <td>3,491m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>累計</td> <td>12,907m</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">※R2年度からストックマネジメント計画へ移行予定</td> </tr> </tbody> </table>			【管きよ】	計画期間					~H30	R1	R2~R5	長寿命化計画				平成30年度までの実績	9,416m					令和元年度実績(見込)	3,491m					累計	12,907m	※R2年度からストックマネジメント計画へ移行予定																							
【管きよ】	計画期間																																																					
	~H30	R1	R2~R5																																																			
長寿命化計画				平成30年度までの実績	9,416m																																																	
				令和元年度実績(見込)	3,491m																																																	
				累計	12,907m																																																	
※R2年度からストックマネジメント計画へ移行予定																																																						
<b>②施設の改築等</b> 健全度調査結果より、その中から緊急度、重要度の高い設備である、栗山中継ポンプ場中央監視制御設備、大庄中継ポンプ場受変電設備、高田中継ポンプ場沈砂設備などの改築更新工事を実施します。(2,032,647千円)	<b>設備改築更新機器台数</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">【設備施設】</th> <th colspan="3">計画期間</th> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>~H30</th> <th>R1</th> <th>R2~R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長寿命化計画</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平成30年度までの実績</td> <td>627台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>令和元年度実績(見込)</td> <td>381台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>累計</td> <td>1,008台</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">※R元年度ストックマネジメント計画と併用 R2年度以降、ストックマネジメント計画へ移行予定</td> </tr> <tr> <td>ストックマネジメント計画</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>令和元年度までの実績</td> <td>122台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>令和2年度実績(見込)</td> <td>113台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>累計</td> <td>235台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度までの実績(見込)は【長寿命化計画】の1,008台【ストックマネジメント計画】の122台の合わせて1,130台となります。</p>			【設備施設】	計画期間					~H30	R1	R2~R5	長寿命化計画				平成30年度までの実績	627台					令和元年度実績(見込)	381台					累計	1,008台	※R元年度ストックマネジメント計画と併用 R2年度以降、ストックマネジメント計画へ移行予定						ストックマネジメント計画				令和元年度までの実績	122台					令和2年度実績(見込)	113台					累計	235台
【設備施設】	計画期間																																																					
	~H30	R1	R2~R5																																																			
長寿命化計画				平成30年度までの実績	627台																																																	
				令和元年度実績(見込)	381台																																																	
				累計	1,008台																																																	
※R元年度ストックマネジメント計画と併用 R2年度以降、ストックマネジメント計画へ移行予定																																																						
ストックマネジメント計画				令和元年度までの実績	122台																																																	
				令和2年度実績(見込)	113台																																																	
				累計	235台																																																	
<b>管更生工事</b>  表面部材	 モルタル注入	 更生完了																																																				
<b>受変電設備改築工事</b> 	<b>沈砂設備改築工事</b> 																																																					
備考																																																						
<b>○尼崎市下水道長寿命化計画（平成25年度～令和元年度）</b> 平成20年度に国が創設した「下水道長寿命化支援制度」に基づき策定したもので、下水道施設の老朽化等に起因する日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、ライフサイクルコストの最小化の観点から、計画的に改築を推進するため、「長寿命化対策」を含めた施設の改築等に関し、対策内容や対策時期等を定めた計画です。																																																						
<b>○尼崎市下水道ストックマネジメント計画（令和元年度～令和5年度）</b> 平成28年度に国が創設した「下水道ストックマネジメント支援制度」に基づき策定したもので、下水道長寿命化支援制度を発展させ下水道施設全体の中長期的な施設の状態を予測しながら維持管理・改築を一体的に捉え、計画的・効率的に管理することにより下水道施設全体のライフサイクルコストの低減を図るための計画です。																																																						

下水道事業会計																																			
事業名	浸水対策（ポンプ設備改築実施設計ほか）																																		
事業概要	令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額																																
目的																																			
近年の都市型集中豪雨に対応するため、雨水整備水準を現在の6年確率降雨強度から国が示す中長期目標である10年確率降雨強度へ引き上げ、道路の溢水、浸水被害の軽減を図ります。	115,857千円	873,501千円	823,184千円 (平成29年度繰越額 212,760千円を含む)																																
令和2年度の内容	計画目標																																		
<p>①末端増補管整備(※1)（東部第1分区） 10年確率降雨に対して能力が不足する箇所についての下水道管を整備します。(40,051千円)</p> <p>②雨水浸透管整備(※2)（立花町地内） 雨水浸透管を整備計画に基づき工事を行います。 (25,177千円)</p> <p>③雨水ポンプ(※3)能力増強 大庄中継ポンプ場及び東部浄化センターの雨水ポンプの雨水排水能力の増強工事のための設計委託を実施します。(43,215千円)</p> <p>④その他整備費用 (7,414千円)</p> <p>※ 武庫分区における雨水貯留管※4の整備に向け、事業計画の変更などの取組を行う。(16,000千円)なお、浸水対策事業の予算には含まない。</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">末端増補管整備(平成26年度から実施)</td> </tr> <tr> <td>対象箇所(東部第1分区と武庫分区の一部)</td> <td>22箇所</td> </tr> <tr> <td>平成30年度までの実績</td> <td>11箇所</td> </tr> <tr> <td>令和元年度実績(見込)</td> <td>3箇所</td> </tr> <tr> <td>令和2年度予定</td> <td>2箇所</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>16箇所</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">雨水浸透管整備延長(平成21年度から実施)</td> </tr> <tr> <td>平成30年度までの実績</td> <td>2,655m</td> </tr> <tr> <td>令和元年度実績(見込)</td> <td>150m</td> </tr> <tr> <td>令和2年度予定</td> <td>150m</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>2,945m</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">雨水ポンプの能力増強台数(平成26年度から実施)</td> </tr> <tr> <td>平成30年度までの実績</td> <td>10台</td> </tr> <tr> <td>令和元年度実績(見込)</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>13台</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※令和2年度は令和3年度以降に増強する計8台分(大庄P・東部T)の設計委託予定</td> </tr> </table>			末端増補管整備(平成26年度から実施)		対象箇所(東部第1分区と武庫分区の一部)	22箇所	平成30年度までの実績	11箇所	令和元年度実績(見込)	3箇所	令和2年度予定	2箇所	累計	16箇所	雨水浸透管整備延長(平成21年度から実施)		平成30年度までの実績	2,655m	令和元年度実績(見込)	150m	令和2年度予定	150m	累計	2,945m	雨水ポンプの能力増強台数(平成26年度から実施)		平成30年度までの実績	10台	令和元年度実績(見込)	3台	累計	13台	※令和2年度は令和3年度以降に増強する計8台分(大庄P・東部T)の設計委託予定	
末端増補管整備(平成26年度から実施)																																			
対象箇所(東部第1分区と武庫分区の一部)	22箇所																																		
平成30年度までの実績	11箇所																																		
令和元年度実績(見込)	3箇所																																		
令和2年度予定	2箇所																																		
累計	16箇所																																		
雨水浸透管整備延長(平成21年度から実施)																																			
平成30年度までの実績	2,655m																																		
令和元年度実績(見込)	150m																																		
令和2年度予定	150m																																		
累計	2,945m																																		
雨水ポンプの能力増強台数(平成26年度から実施)																																			
平成30年度までの実績	10台																																		
令和元年度実績(見込)	3台																																		
累計	13台																																		
※令和2年度は令和3年度以降に増強する計8台分(大庄P・東部T)の設計委託予定																																			
<p>末端増補管</p>  <p>雨水浸透管</p>  <p>雨水貯留管整備</p>  <p>雨水ポンプ能力増強工</p>  <p>これほどの下水道 下水道の排水能力を超過する大雨は地上に溢れます</p> <p>貯留管を設備すると 下水道から雨水が地上へ溢れる前に貯留します</p>																																			
備考	<p>※1 末端増補管とは下水道の大きな幹線管きょから見て末端部分に位置する場所の下水道管を増径して入れ替えたり、既設管を補完するために新設管を整備をすることで、10年確率降雨に対する排水能力不足を補う施設です。</p> <p>※2 雨水浸透管とは、車道と歩道間のスペースに穴の開いた雨水用の特殊な管や柵を設置し、降った雨を地中に浸透させ、下水道本管に流れ込む雨水量を減らすことで、浸水被害の軽減を図る施設です。</p> <p>※3 雨水ポンプとは、下水道のポンプ場において、管きょを流下してきた雨水を、河川などの公共用水域に放流するためのポンプです。</p> <p>※4 雨水貯留管とは、雨天時に増加する雨水を既設下水道管から取り込むことで一時的に貯留し、浸水の被害を軽減する施設です。</p>																																		

## 下水道事業会計

事業名		地震対策（ポンプ場耐震補強ほか）													
事業概要		令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額											
目的		260,004千円	453,149千円 (平成30年度繰越額 181,849千円を含む)	85,317千円 (平成29年度繰越額 63,662千円を含む)											
大規模な地震が発生した後においても、ライフラインとしての下水道機能の維持を図るために、指定避難所として位置づけられている学校68校にマンホールトイレを整備し、下流の管きよ等の耐震化を図ります。															
令和2年度の内容		計画目標													
<b>①マンホールトイレの設置</b> 避難所となる小学校の内6校にマンホールトイレを整備します。(令和元年度以降各行政区に設置) (62,674千円)		スケジュール													
マンホールトイレ 		対象施設		R	R										
				元	2										
		管きよ施設	老朽管管きよ												
		処理場施設	北部浄化センター												
		ポンプ場施設	中在家中継ポンプ場												
			高田中継ポンプ場												
			富松ポンプ場												
			尾浜ポンプ場												
		その他施設	マンホールトイレ	7校	6校										
				6校	6校										
				6校	6校										
<b>②マンホールトイレ接続管きよの耐震性確保</b> マンホールトイレから下流の管きよを優先して耐震診断を行い、耐震性能がない管きよの耐震補強を実施することで、マンホールトイレ整備箇所から終末処理場までの管きよの耐震性の確保を図り、マンホールトイレの効果を促進します。 耐震診断費用（31,734千円） 耐震化工事（65,925千円）		<table border="1"> <tr> <td>マンホールトイレ整備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成30年度までの実績</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>令和元年度実績(見込)</td> <td>7校</td> </tr> <tr> <td>令和2年度予定</td> <td>6校</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>13校</td> </tr> </table>				マンホールトイレ整備		平成30年度までの実績	-	令和元年度実績(見込)	7校	令和2年度予定	6校	累計	13校
マンホールトイレ整備															
平成30年度までの実績	-														
令和元年度実績(見込)	7校														
令和2年度予定	6校														
累計	13校														
<b>③中継ポンプ場施設の耐震化</b> 富松中継ポンプ場、尾浜中継ポンプ場の耐震補強工事を実施します。(99,671千円)		<table border="1"> <tr> <td>施設の耐震化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成30年度までの実績</td> <td>10施設</td> </tr> <tr> <td>令和元年度実績(見込)</td> <td>2施設</td> </tr> <tr> <td>令和2年度予定</td> <td>2施設</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>14施設</td> </tr> </table>				施設の耐震化		平成30年度までの実績	10施設	令和元年度実績(見込)	2施設	令和2年度予定	2施設	累計	14施設
施設の耐震化															
平成30年度までの実績	10施設														
令和元年度実績(見込)	2施設														
令和2年度予定	2施設														
累計	14施設														
<b>施設の耐震化工事</b> 															
備考															
○尼崎市下水道総合地震対策計画（計画期間 平成30年度～令和4年度）															
1 耐震補強 ・管路施設 防災拠点、避難所からの排水を受ける管きよ ・処理場・ポンプ場 耐震補強工事が必要な箇所															
2 減災対策 ・マンホールトイレ 小学校25校(1校あたり6基程度)※令和4年度まで 将来的には避難所として位置付けられた学校(68校)に整備予定。															
※専用の下水道管を布設し、発災時は下水道管へ直接便器を接続し、テント等で困うことで利用するトイレです。															

下水道事業会計

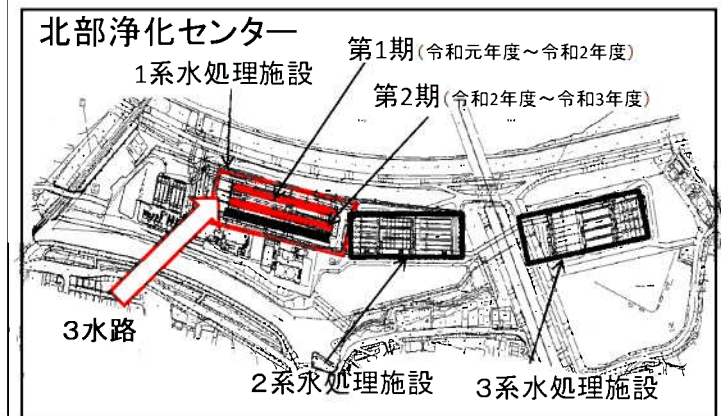
事業名 高度処理の推進（浄化センター高度処理化）

事業概要	令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額
目的 大阪湾の水質改善を図るため、下水処理施設である東部・北部両浄化センターに高度処理設備を導入し、富栄養化の原因となる窒素、リンの削減に取り組みます。	1,088,000千円	1,258,000千円 (平成30年度繰越額 350,000千円を含む)	916,970千円 (平成29年度繰越額 308,000千円を含む)

令和2年度の内容 計画目標

○北部浄化センター1系水処理施設高度処理化  
北部浄化センターの1系水処理施設を窒素とリンが削減できる処理方式に改造する工事を実施します。  
(1,088,000千円)  
第1期工事 518,000千円 } ※令和2年度分の事業費  
第2期工事 570,000千円

第1期工事	令和1～2年度	事業費	1,426,000千円
第2期工事	令和2～3年度	事業費	1,238,000千円
第3期工事	令和3～4年度	事業費	1,388,000千円
総事業費			4,052,000千円



耐震補強（※1）

削孔作業

高度処理（機械設備）（※2）

攪拌機

汚泥掻寄機

高度処理（電気設備）（※3）

終沈設備補助継電器

流入流量計

施設	期別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
東部浄化センター 1系	1期	●	●	●	●						
	2期			●	●	●					
	3期						●	●	●		
北部浄化センター 1系	1期							●	●	●	
	2期								●	●	●
	3期									●	●

浄化センターの高度処理化		
令和元年度実績	1系列（東部）	浄化センターではそれぞれ1系施設の高度処理化を進めています。
令和2年度予定	0.3系列（北部）	
累計	1.3系列	

備考

<高度処理化事業の概要>  
東部浄化センターと北部浄化センターのそれぞれ1系列の水処理施設について、通常の下水処理に加え、窒素及びリンを安定的に処理できるように施設の改造工事を実施し、高度処理化を進めています。  
※主な目標水質基準（1年間の平均で、窒素8mg/L以下、リン0.8mg/L以下）

<工事の内容>  
（※1）土木工事：高度処理に対応する水路等の改築と合わせて施設の耐震化を実施。  
（※2）機械設備工事：高度処理に対応する攪拌機の設置や古くなった設備の更新を実施。  
（※3）電気設備工事：高度処理に対応する監視制御設備の改築や古くなった設備の更新を実施。

水道・工業用水道、下水道事業会計

事業名	広報、広聴（ウォーターニュースあまがさき発行ほか）		
事業概要	令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額
目的	<b>30,229千円</b> 水道 21,881千円 下水道 8,348千円	<b>22,389千円</b> 水道 15,392千円 下水道 6,997千円	<b>12,124千円</b> 水道 9,254千円 下水道 2,870千円
令和2年度の内容	計画目標		
<p>水道、下水道は、快適な暮らしを支える重要な都市基盤で人々の生活にとって欠くことのできないものです。これらの大切さを広報・広聴活動を通し改めて認識してもらおうとともに、お客様の満足度の向上や、事業運営とその理解につなげるため、様々な取組を行っていきます。</p> <p>将来にわたって持続可能な運営とその理解に繋げるため様々な取組を行っていきます。</p> <p>①ウォーターニュースあまがさきの発行 水道、下水道に関する情報を発信している広報紙「ウォーターニュースあまがさき」を継続して発行します。（年4回発行予定）（11,439千円）</p> <p>②水道、下水道を身近に感じていただくイベント 神崎浄水場や北部浄化センターでの見学や催し等を通して、水道、下水道を知ってもらい、身近に感じていただくイベントを開催します。（6,958千円）</p> <p>③マンホールカードの配布等 全国的な取組である“マンホールカード”の継続配布や新たなデザインマンホールを考案し、作成・設置を行うなど、下水道に関心を持っていただける取組を行っていきます。（2,958千円）</p> <p>④情報発信ほか ホームページでの情報発信やパンフレット等を作成し、施設見学や社会科学習での活用など啓発を行っていきます。（8,874千円）</p>	<p>水道、下水道の現状を理解いただくとともに、より身近に感じ、市民の皆様自身のこととして理解いただくことを目標として、より効果的で楽しむことのできる広報活動に取り組みます。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white;">ウォーターニュースあまがさきの発行</p>  </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white;">水道、下水道を身近に感じていただくイベント</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white;">開放イベント(神崎浄水場)</p>  </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white;">施設見学会(北部浄化センター)</p>  </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white;">市民まつり</p>  </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white;">マンホールカード、情報発信ほか</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>マンホールカード</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>キーホルダー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>雨水貯留タンク 助成金制度案内</p> </div> </div> </div> </div>		
備考			

## モーターボート競走事業会計

事業名		大規模施設改修事業																						
事業概要		令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額																				
目的		2,276,142千円	735,711千円 (平成30年度繰越額 549,340千円を含む)	-																				
<p>メインスタンド建設後、20年が経過し施設の老朽化が進んでいるとともに、現状の来場者数に対して過大な施設規模、経年によるアメニティの低下等の課題を抱えています。そのため、新しいファン層を誘引できる魅力ある快適な施設環境の確保、来場者数に見合った施設のコンパクト化、周辺地域への貢献をコンセプトにモーターボート競走場内の大規模改修を行います。</p> <p>施設整備を進めるにあたっては、「デザインビルド方式」を採用しています。</p>																								
令和2年度の内容		計画目標																						
<p>○大規模施設改修事業</p> <p>メインスタンド内の店舗や投票所の改修、屋外ステージの改修、西門の新築、建物の解体などを行います。なお、解体する建物にはアスベストが含有されていることから、アスベスト除去も併せて実施します。 (2,276,142千円)</p> <p>なお、令和元年度は、設計を進めるとともに、メインスタンドの屋上防水及び外壁の改修、メインスタンド1階の改修、水面の擁壁の改修を行っています。</p> <p>&lt;完成イメージ図&gt;</p>  <p>(今後変更する可能性あり)</p>		<p>施設の課題を解消し、モーターボート競争事業を安定的に継続しつつ市財政に貢献するため、以下の方向性に基づいて施設の改修を進めます。</p> <p>事業の全体像</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①食機能の集約・改修</td> <td>レストラン、売店をメインスタンド1階に集約・改修</td> </tr> <tr> <td>②観覧席の集約・改修</td> <td>有料指定席を3階の半分に移設、集約・改修</td> </tr> <tr> <td>③インフォメーション等の移設</td> <td>1階にインフォメーション、子供ルームを移設</td> </tr> <tr> <td>④トイレ、喫煙ルームの整備</td> <td>トイレの洋式化等</td> </tr> <tr> <td>⑤屋上・外壁等防水</td> <td>老朽化に対応した防水工事</td> </tr> <tr> <td>⑥エスカレーターの改修等</td> <td>老朽化や法改正に対応するための改修</td> </tr> <tr> <td>⑦1号館、大屋根の撤去</td> <td>インフォメーション移設後の1号館、大屋根の撤去</td> </tr> <tr> <td>⑧イベントステージの移設</td> <td>現在、大屋根下にあるイベントステージの移設</td> </tr> <tr> <td>⑨正門及び西門の移設</td> <td>メインスタンド方向へセットバックした位置に移設</td> </tr> </tbody> </table> <p>施設改修事業に伴う契約額 約36億円 (アスベスト除去費用は事業費調整中)</p> <p>モーターボート競走事業は老朽化した施設の改修・改築等を行うためにこれまでの収益を建設改良積立金に積み立ててきました。当該大規模施設改修事業ではこれらの資金(建設改良積立金)等を活用します。</p>			主な項目	内容	①食機能の集約・改修	レストラン、売店をメインスタンド1階に集約・改修	②観覧席の集約・改修	有料指定席を3階の半分に移設、集約・改修	③インフォメーション等の移設	1階にインフォメーション、子供ルームを移設	④トイレ、喫煙ルームの整備	トイレの洋式化等	⑤屋上・外壁等防水	老朽化に対応した防水工事	⑥エスカレーターの改修等	老朽化や法改正に対応するための改修	⑦1号館、大屋根の撤去	インフォメーション移設後の1号館、大屋根の撤去	⑧イベントステージの移設	現在、大屋根下にあるイベントステージの移設	⑨正門及び西門の移設	メインスタンド方向へセットバックした位置に移設
主な項目	内容																							
①食機能の集約・改修	レストラン、売店をメインスタンド1階に集約・改修																							
②観覧席の集約・改修	有料指定席を3階の半分に移設、集約・改修																							
③インフォメーション等の移設	1階にインフォメーション、子供ルームを移設																							
④トイレ、喫煙ルームの整備	トイレの洋式化等																							
⑤屋上・外壁等防水	老朽化に対応した防水工事																							
⑥エスカレーターの改修等	老朽化や法改正に対応するための改修																							
⑦1号館、大屋根の撤去	インフォメーション移設後の1号館、大屋根の撤去																							
⑧イベントステージの移設	現在、大屋根下にあるイベントステージの移設																							
⑨正門及び西門の移設	メインスタンド方向へセットバックした位置に移設																							
備考		<p>※デザインビルド方式とは： 官民連携手法の一つで、設計と施工を一括して1つの事業者(事業体)に発注する手法です。設計と施工を一元化することによって、工期の短縮が期待できること、事業者のノウハウの活用により、工事品質の向上や現場条件に適合した合理的な設計が可能になること、設計変更が迅速に対応できることなどのメリットがあります。</p> <p>改修スケジュール 平成30年度 3月 事業契約締結 設計業務 令和元年度 設計、外壁改修、屋上防水 令和2年度 メインスタンド内店舗・指定席及び投票所の改修 西門・エキサイティングゾーンの建設、大屋根解体、ステージ新設 令和3年度 正門建設、9号館改修 事業完了</p>																						



## モーターボート競走事業会計

事業名		電話投票売上向上事業																														
事業概要		令和2年度予算	令和元年度当初予算	平成30年度決算額																												
目的		63,737千円	79,070千円	36,255千円																												
<p>近年、利用者数が著しく増加し、全国では総売上の約5割を超える電話投票(インターネット投票)での発売に重点を置き、利用者数の更なる拡大と定着、売上の向上を目指します。</p>																																
令和2年度の内容		計画目標																														
<p><b>①電話投票(※)キャンペーン事業</b>            平成29年度よりサービスを開始したボートレース尼崎の電話投票会員クラブの運営とキャッシュバック等のキャンペーンを継続するとともに、これまで蓄積してきた顧客情報を活用し、会員獲得を重視した取組から、会員の特性や購入金額に応じたサービス展開へ転換することにより会員の定着化を図ってきました。            令和2年度からは、年間の購入額に着目した会員ランク制度を新たに導入し、各ランクに応じたサービスを構築することで売り上げの向上を目指します。            (42,300千円)</p> <p>★取組み  <b>【サイト運営】</b>            キャンペーン内容や会員ランクに応じたサービスが明確なサイトに改善します。</p> <p><b>【キャッシュバックキャンペーン】</b>            賞金総額を30,000千円(内、尼崎市負担分21,300千円)とし、これまでの賞金プランを精査し、加えて各会員ランクに応じたキャッシュバックを実施します。</p> <p><b>【サービス】</b>            令和2年度より会員ランクに応じたサービスを充実させ、特に各会員ランク上位者には、プレミアム感のあるサービスを行い、会員の定着化や本市の電話投票の売上額の底上げを目指します。</p>		<p>○ 電話投票1日平均売上(GII以上を除く)の推移及び目標額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話投票売上</td> <td>70,395</td> <td>88,725</td> <td>118,305</td> <td>122,679</td> <td>136,155</td> <td>146,262</td> </tr> <tr> <td>目標額</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>106,088</td> <td>122,679</td> <td>136,155</td> <td>146,262</td> </tr> <tr> <td>実績額</td> <td>70,395</td> <td>88,725</td> <td>118,305</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29・30年度の目標額は経営計画で設定されていない            ※令和元年度の実績額は令和元年10月末時点の数値</p>				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	電話投票売上	70,395	88,725	118,305	122,679	136,155	146,262	目標額	-	-	106,088	122,679	136,155	146,262	実績額	70,395	88,725	118,305	-	-	-
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																										
電話投票売上	70,395	88,725	118,305	122,679	136,155	146,262																										
目標額	-	-	106,088	122,679	136,155	146,262																										
実績額	70,395	88,725	118,305	-	-	-																										
<p><b>②ビットレポート配信事業</b>            ボートの発着場(ビット)から、電話投票のユーザーに対して質の高いレース情報をライブ配信することで、電話投票利用者の獲得を図ります。            現在、SGレース等ビックレースに係る予想情報のライブ配信については、全国のボートレース場で統一展開されていますが、ボートレース尼崎独自にビックレース以外でもライブ配信を実施します。(21,437千円)</p>																																
備考		<p>※ 電話投票 : 電話回線やインターネットを使用して舟券を購入する方法。</p>																														